

科目名	茶道					担当者	鎌田文恵						
区分	選択	2	単位	授業回数	30	回	授業形態	実習	学年	1・2年	開講期	通年	
教員との連絡方法 質問等の受付方法	授業前後にオフィスを設ける												
専門的 学習成果	①	茶道における初めの一步であり、基本動作でもある「薄茶点前」を行うことができる。											
	②	利休の教えである「和敬静寂」の理念を説明できる。											
	③	「利休七則」に則り、一碗を通して相手を思いやり、もてなすことができる。											
	④	茶道の歴史から茶器や墨蹟などの諸芸術に対する造詣を考察することができる。											
	⑤	閑寂の知見を広め、自己を内省し、実社会へ適用できる。											
汎用的 学習成果	(1)	茶道の作法を通して、人との関わりに必要な自己表現、他者理解ができる。(専門的学習成果①②③④)											
	(2)	人間関係の尊重、集団の規律を遵守を通して、協働し、地域社会の発展に積極的に貢献することができる。(専門的学習成果②③④⑤)											
授業概要	<p>仏教を建学の精神とする本学園の方針に基づき、日本の伝統的精神文化である茶道の作法を通じて、国際社会に生きる日本人としての基礎的資質を育むとともに豊かな情操を養い人格完成を目指す学習を行う。</p> <p>具体的には運び、薄茶点前を行う。</p> <p>特に人間相互の関係を尊重しながら集団の規律を遵守し、相手を思いやる心を養い、実技を通じて礼儀作法、点前の基礎、使用する茶器や花を通じて美的感覚を身につける。</p> <p>具体的には茶会を行う。</p>												
評価方法 基準等	学習成果	種別	割合 (%)	評価方法・基準									
	専門的 学習成果	定期試験											
		レポート											
		実技試験	50	各種点前、礼儀作法の内容を評価する。									
		平常点	50	実習への取り組み・意欲・態度により評価する。随時到達度、理解の程度を確認する。									
汎用的 学習成果	汎用的学習成果 (1) (2) については、以下のとおり専門的学習成果により評価を行う。 (1) は専門的学習成果①②③④により評価を行う。 (2) は専門的学習成果②③④⑤により評価を行う。												
テキスト 等	著者・編集者名	書名					出版社名						
		『裏千家茶道』					淡交社						
参考書 参考文献	著者・編集者名	書名					出版社名						
①準備学習等履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法等	<p>①帛紗、古帛紗、扇子、懐紙、足袋(白ソックス)一括購入約5,000円と実習費6,000円がかかる。裏千家初級が習得できる。(許状申請も可能)</p> <p>時間外学習(30時間)として、点前に必要な基本動作を習得するまで繰り返し稽古に励むことを挙げたい。一方で茶道の理念ともいべき精神文化に触れる機会も見いだすこと。</p> <p>具体的な方法としては茶室を訪れ、露地(茶室の庭)を散策し、さらには博物館や美術館などの文化施設に足を運ぶなどして精神的、普遍的教養を身に付ける。</p> <p>②小テスト後や実技試験後に具体的な作法の注意点について指摘し、解説を行う。</p>												

授業計画		学習成果の評価	授業計画		学習成果の評価
1回	授業内容	茶道とは何か。歴史、意義など	美しい姿でお辞儀等の所作振る舞いができるかを確認	授業内容	茶道の精神
	学習成果	茶道の精神性への理解		学習成果	和敬清寂、利休七則の理解
2回	予習復習の内容	四規、和休七則の熟読玩味	20回	予習復習の内容	自己を顧みつつ、先達に思いを致す
	授業内容	基礎、基本の実技		授業内容	風炉薄茶点前③ 運び
3回	学習成果	茶道具の扱い方	17回	学習成果	道具を選び、点てることできる
	予習復習の内容	茶道具の名称、使い道を知る		予習復習の内容	客と亭主、それぞれの立場を理解する
4回	授業内容	座る、立つ、歩くの基本動作	18回	授業内容	風炉薄茶点前④ 手前
	学習成果	滞りない一連の動き		学習成果	人前で茶を出し、片付けの手前ができる
5回	予習復習の内容	基本動作の体得	19回	予習復習の内容	心を込めて茶を点てる
	授業内容	礼節の基本。お辞儀、ふすまの開閉など		授業内容	風炉薄茶点前⑤ 動作
6回	学習成果	正しい姿勢を保つ	20回	学習成果	滞りない一連の動作ができる
	予習復習の内容	「真・行・草」の習得		予習復習の内容	姿勢、動作の反復練習
7回	授業内容	割り稽古	21回	授業内容	風炉薄茶点前⑥ 点茶
	学習成果	基本動作、道具扱いの習得		学習成果	滞りない一連の動作ができる
8回	予習復習の内容	反復練習	22回	予習復習の内容	姿勢、動作の反復練習
	授業内容	帛紗の扱い方		授業内容	風炉薄茶点前⑦ 点茶
9回	学習成果	茶器を正しく拭き、腰に付ける	23回	学習成果	滞りない一連の動作ができる
	予習復習の内容	反復練習		予習復習の内容	姿勢、動作の反復練習
10回	授業内容	薫(なつめ)の清め方	24回	授業内容	風炉薄茶点前⑧ 総合
	学習成果	正しく扱い、帛紗で清める		学習成果	滞りない一連の動作ができる
11回	予習復習の内容	反復練習	25回	予習復習の内容	姿勢、動作の反復練習
	授業内容	茶杓の扱い		授業内容	風炉薄茶点前⑨ 確認
12回	学習成果	正しく扱い、清める	26回	学習成果	正しい姿勢を保つ
	予習復習の内容	反復練習		予習復習の内容	鏡に自分を映し確認
13回	授業内容	茶巾の扱い	27回	授業内容	風炉薄茶点前⑩ 確認
	学習成果	主旨は清浄、清潔、たたみ方を知り、腕に仕組める		学習成果	正しい姿勢を保つ
14回	予習復習の内容	反復練習	28回	予習復習の内容	反復練習
	授業内容	茶碗の清め方		授業内容	風炉薄茶点前⑪ 点前
15回	学習成果	茶巾を仕組み、茶碗を清める	29回	学習成果	滞りない一連の動作ができる
	予習復習の内容	反復練習		予習復習の内容	反復練習
16回	授業内容	柄杓の扱い 等	30回	授業内容	風炉薄茶点前⑫ 道具の拝見
	学習成果	湯水の汲み方、取め方を会得		学習成果	無の心での点前の実践
17回	予習復習の内容	置き、切り、引きの反復練習	31回	予習復習の内容	自己を顧みつつ、茶道の精神の理解
	授業内容	客の心得、お茶、お菓子のいただき方		授業内容	風炉薄茶点前⑬ 道具の拝見
18回	学習成果	美しい所作で茶をいただく	32回	学習成果	滞りない動作で客をもてなすことができる
	予習復習の内容	茶会への自主的参加		予習復習の内容	水屋での準備、計画を立てる
19回	授業内容	風炉薄茶点前① 道具	33回	授業内容	客の心得、水屋の心得、道具の拝見
	学習成果	道具を選び、正確な位置に座す		学習成果	相手を慮る
20回	予習復習の内容	足の運び、道具の扱いの反復練習	34回	予習復習の内容	亭主の立場の理解
	授業内容	風炉薄茶点前② 建水、柄杓		授業内容	お祝いの茶事
21回	学習成果	建水を持ち出し、柄杓の引き方を学ぶ	35回	学習成果	茶事を体験し、茶の湯の味わいを知る
	予習復習の内容	指先、手の動きなど細部にわたる自己研鑽		予習復習の内容	一年間の授業を終え、改めて「茶道とは」に思いを致す